

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策 : 04 持続可能な水道経営

| | |
|----------|-------------|
| 主管課長職・氏名 | 水道総務課長 小林純子 |
| 関係課長職・氏名 | 水道整備課長 角掛雄一 |

1. 基本施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

水道は、市民生活に欠かすことができないライフラインであり、将来にわたって安全な水道水を供給できるよう、健全かつ持続可能な水道事業の経営を目指します。

(2) 基本施策目標値の達成状況

| No | この基本施策に関わる基本施策目標指標 | 基準値 | 上：戦略目標見込値／下：達成値 | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|----|---|--------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | 令和 4年度 | 令和 4年度 | 進捗率(%) |
| 1 | 暮ら し 単 位 % 経営資本営業利益率 | 1.57 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | A |
| | | | 0.82 | 0.74 | 1.39 | 1.01 | 1.01 | 101.0 |
| 2 | 暮ら し 単 位 % 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 | 74.1 | 75 | 77 | 78 | 80 | 80 | B |
| | | | 70.6 | 68.8 | 74.7 | 78.5 | 78.5 | 74.6 |
| 3 | 幸 福 単 位 % 滝沢市に愛着がある人の割合 | 74.6 | 75 | 77 | 78 | 80 | 80 | C |
| | | | 69.1 | 68.1 | 71.2 | 75 | 75 | 7.4 |

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

| No | 施 策 名 施 策 目 標 指 標 | 基準値 | 上：戦略目標見込値／下：達成値 | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|----|---|--------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | 令和 4年度 | 令和 4年度 | 進捗率(%) |
| 1 | 暮ら し 単 位 % 04040100 水道経営基盤の充実 経営資本営業利益率 | 1.57 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | A |
| | | | 0.82 | 0.74 | 1.39 | 1.01 | 1.01 | 101.0 |
| | 単 位 | | | | | | | |
| | 単 位 | | | | | | | |
| | 単 位 | | | | | | | |
| | 単 位 | | | | | | | |

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策：04 持続可能な水道経営

| | |
|----------|-------------|
| 主管課長職・氏名 | 水道総務課長 小林純子 |
| 関係課長職・氏名 | 水道整備課長 角掛雄一 |

2. 基本施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

| | |
|---|--------|
| B | 概ね達成した |
| <p>持続可能な水道経営を実現するための運営指針となる滝沢市水道事業中期経営計画（後期）（令和元年度～4年度）に基づき、施策目標の達成に向け事業を展開しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道利用者に密着したサービスの向上 ・広聴広報の充実 ・財政の健全化 ・人材育成と組織力の強化 ・官民連携と広域連携の推進 | |

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

| | |
|--|--------|
| B | 概ね達成した |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新たな納付方法としてコード決済の導入に取り組みました。 ・わかりやすい情報発信について、コロナ禍により啓発イベントを見合わせ、広報誌を増刊しました。 ・次期水道事業ビジョン及び経営計画を策定し、あわせて財政シミュレーションの見直しを行いました。 ・職員の専門的知識と技術継承のため、オンラインやオンデマンドの外部研修やOJT研修による人材育成を行いました。 ・広域連携について、広域連携検討会やブロック検討会を通じて情報共有を図りました。 | |

3. 基本施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

| | |
|--|----------|
| B | 社会環境変化あり |
| <ul style="list-style-type: none"> ・給水人口及び有収水量の減少傾向 ・新型コロナウイルス感染症や国際情勢等の影響等による市民意識や経済情勢の変化 | |

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

| | |
|---|------|
| A | 必要なし |
| | |

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

| | |
|--|------|
| B | 課題あり |
| <p>令和5年度以降の次期水道事業ビジョン等における重点課題「有収水量の減少」「施設更新需要の増大」「人的資源の確保・技術の継承」について、社会環境予測や更新需要の予測（施設整備計画の策定）に基づき財務シミュレーションの見直しを行う必要があります。</p> | |

